

平成29年12月11日  
 東部農林振興センター出雲事務所農業普及部

<b>標 題</b>	出雲地域の稲WCS、更なる品質向上に向けて ～その3；「飼料用稲WCS生産技術品質向上研修会」の開催～
------------	--

(ダイジェスト)

12月8日に、島根県畜産技術センターにおいて「飼料用稲WCS生産技術品質向上研修会」が開催され、多くの方の参加がありました。今年度は、稲WCSロール8個が出品され、品質や水分率の違いを比較・確認してもらいました。

今回は、中干しの徹底と出雲版栽培暦の策定、スクイーズテストの現地試行結果を中心に研修し、来年産の生産に向けて再度意識を統一する良い機会になりました。

J Aしまね出雲WCS協議会（渡部良幸会長、以下「協議会」）における本年産のさらなる品質向上に向けた取り組みについては、普及情報No. 8およびNo. 9にて情報提供したところです。

この度、12月8日に畜産技術センターにおいて、協議会主催による「飼料用稲WCS生産技術品質向上研修会」（以下「研修会」）が開催されました。この研修会は、J Aしまね出雲地区本部と出雲事務所が協力し、稲WCSの品質向上を目的に平成25年から開催しており、今年度は生産者、利用者、関係者約40名の参加がありました。

まず、参加者に耕種農家6戸（団体）が生産した8ロールの稲WCSを見てもらい、それぞれの感触や香りの違いから、品種・刈取時期・収穫機械等による品質の差を比較・確認してもらいました。中には、参加者同士で栽培・収穫・保管時の状況等を意見交換・質疑し合う様子もうかがえました。

その後、稲WCSの安定生産に向けた注意点、飼料用稲の「出雲版栽培暦」の紹介（当普及部）、稲WCSの保管に対する注意点（農業技術センター）、水田を活用した試験研究の紹介（畜産技術センター）、「スクイーズテスト」取組状況の報告（当普及部）を中心に研修を行い、多くの参加者が納得した様子でした。

本研修会は、品質の確認と課題の抽出、次年作栽培に向けた対策について考える良い機会であるため、今後も継続して開催していき、当普及部としては、稲WCSが安定的に高品質で生産されることを目指し、協議会の活動及び技術指導等の支援を行っていくこととしています。



<稲WCSの品質確認>



<栽培の注意点を説明>